

募集テーマ

分野

ものづくり産業の魅力やキャリアパスの見える化

雇用・所得



県立工科短期大学校(静岡キャンパス)

①現状・課題

- ✓ 本県のものづくり産業は、地域経済と雇用を支える基幹産業である。一方で、製造業への若年入職者は減少傾向にあり、理系離れや実学系高校の入学割合低下が人材確保の課題となっている。
- ✓ ものづくりの現場における具体的な仕事の内容、魅力、将来のキャリアパスが若者や保護者に十分伝わっておらず、進路選択時の有力な選択肢として認識されていない。
- ✓ 県立工科短期大学校等の職業能力開発施設では、ものづくりの基礎技能から最新のデジタル技術まで学べるカリキュラムや職場実習を通じて、即戦力となる人材を育成しているが、近年は入校者数が減少傾向にある。
- ✓ 県のウェルビーイング指標では、「やりたい仕事を見つけやすい」と回答した人の割合が14%にとどまっており、仕事や進路の情報が十分に届いていない状況である。

②実現したい未来

- ✓ 小中高生及びその保護者に対し、ものづくり産業の仕事の魅力、やりがい、将来性が分かりやすく伝わり、進路選択における有力な選択肢として認識されている状態を実現したい。
- ✓ 小中学生段階でのものづくり体験・職場体験から、高校等の選択、県立工科短期大学校等での技能・技術の習得、県内企業への就職までを一連のキャリアパスとして見える化し、若者がエンジニアや職人などのものづくり人材としてのキャリアを具体的にイメージできるようにしたい。
- ✓ 県立工科短期大学校等の入校者数の増加につなげ、県内ものづくり産業を支える人材が活躍できる静岡県を実現したい。

静岡県経済産業部職業能力開発課

募集テーマ：ものづくり産業の魅力やキャリアパスの見える化

③民間企業との協業イメージ

小中高生及び保護者に対し、静岡県のものづくり産業の仕事の魅力を可視化し、効果的な情報発信の仕組みや、体験機会を創出する既存事業の効果を高める仕組みの提案を求める。

【想定する提案例】※あくまで例示であり、これに限るものではありません。

- ✓ 小中高生に伝わりやすいゲーム性、映像、参加型企画等を取り入れた、ものづくり産業で実際に働くイメージや魅力、キャリアパスの伝達ツール
- ✓ 保護者向けの理解促進コンテンツ等を通じた、小中高生本人・保護者双方へ訴求する効果的な仕組み
- ✓ 職場体験講座、WAZAチャレンジ教室、デジチャレンジ教室、県立職業能力開発施設における職業訓練等の既存事業を活用し、体験後に次の学びや進路選択につながる導線づくり

【提供可能なアセット】

- ✓ 県立工科短期大学校等の職業能力開発施設、小中学生向け職場体験講座、WAZAチャレンジ教室、デジチャレンジ教室等の既存事業との連携
- ✓ 工科短期大学校等と連携する企業ネットワークへのアプローチ機会、既存事業を通じた学校現場との接点

④担当部署／担当者コメント

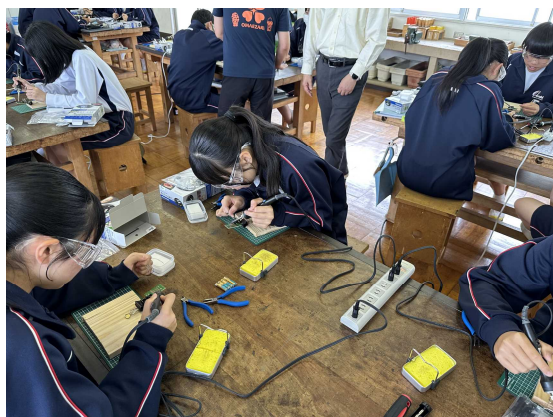
現在、小中学生向けの体験講座や競技大会など個別の施策は定着し需要も手ごたえを感じていますが、これらが「点」の状態で行われており、その先のキャリアパスへつなげられていないことに課題を感じています。特に、製造業の古いイメージを払しょくし、AI時代における新たな将来性を提示できるかがカギだと考えています。

この「点」を「線」や「面」にし、若者が製造業を将来の選択肢としてとらえられるような戦略を、民間ならではの発信力と知恵を借りて一緒に構築できないでしょうか。ぜひ、ご提案をお待ちしています！

関連取組の内容



県立工科短期大学校(授業風景)



デジチャレンジ教室